

# 事務事業チェックシート

事務事業No  
114

事業名  
避難場所整備事業

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	4	防災体制の充実
施策	3	災害等に強い体制づくりの推進
取組方針	2	避難体制及び避難所運営体制の構築

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	総合防災費		
	大事業	総合防災事業		
	中事業	避難場所整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域防災計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	総合防災課	南方 伸哉 435-1199
事業実施の根拠法令			関連課	教育施設課		

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	避難場所の指定及び避難誘導標識等を設置することで、災害時に市民が円滑に避難できるように促すことを目的とする。		災害時において、市民が円滑に避難することができるように、避難場所の指定及び避難誘導標識等の設置・維持管理を行う。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		①避難標識の点検 ②避難標識の修繕 ③震度感知式鍵ボックスの設置	①避難標識の点検 ②避難標識の修繕 ③震度感知式鍵ボックスの設置	避難場所指定及び避難誘導標識、避難誘導灯を設置及び維持管理を行う。	避難場所指定及び避難誘導標識、避難誘導灯を設置及び維持管理を行う。	避難場所指定及び避難誘導標識、避難誘導灯を設置及び維持管理を行う。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	6,428	3,010	4,833	2,952	895	844	789	0	789	0	
伸び率(%)	△92.8%	△95.6%	△24.8%	△1.9%	△81.5%	△71.4%	△11.8%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	14,198	14,118	15,984	15,505	16,350	14,900	14,095	0	14,095	0
	正規職員以外	1,723	1,723	1,415	1,148	1,091	1,091	146	0	146	0
	小計	15,921	15,841	17,399	16,653	17,441	15,991	14,241	0	14,241	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	2,707	1,184	1,895	1,215	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	3,721	1,826	2,938	1,737	895	844	789	0	789	0	
所要人数(人)	正規職員	1.78	1.77	2.00	1.94	2.03	1.85	1.75	0.00	1.75	0.00
	正規職員以外	0.69	0.69	0.57	0.51	0.47	0.47	0.09	0.00	0.09	0.00
主な予算内訳	消耗品費444千円 所々修繕料451千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
	(和歌山市版「稲むらの火」)の設置	箇所	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%
	震度感知式鍵ボックスの設置	箇所	目標値	16	16	0	0	0
			実績値	16	16	0	0	0
			達成度(%)	100%	100%	0%	0%	0%
成果指標	(和歌山市版「稲むらの火」)の設置率	%	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%
	震度感知式鍵ボックスの設置率	%	目標値	60.98	100	0	0	0
			実績値	60.98	100	0	0	0
			達成度(%)	100%	100%	0%	0%	0%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各地区に海拔表示板を2000カ所設置したことで、概ね地区内の主要道路では付近の海拔が分かるようになっている。又、避難先の入口付近に太陽光発電式蓄電池内蔵型LED避難誘導灯を設置することにより、夜間照明を確保することができている。
見直し・改善内容	円滑かつ安全な避難を確保するため、各設備の維持管理を充実させる。